

# CM09-R25×レセプタクルコネクタ

## 結線手順書

第一電子工業株式会社  
発行日：平成17年 7月12日  
資料番号：TC-546

改版	年月日	改版 No.
A	' 05. 7. 12	新規発行
B	' 05. 9. 22	変更通知 No. T-1444
C	' 17. 3. 14	変更通知 No. T-4471
D	' 19. 03. 01	変更通知 No. T-4701
E	' 20. 05. 21	変更通知 No. T-5030

# 目 次

	頁
1. 概説	2
2. 仕様	2
3. 結線作業	
3-1. コンタクト圧着	3
3-2. コンタクト挿入	4
3-3. アース線はんだ付け	5
3-4. 電気検査	6
4. 参考	7

## 1. 概説

本結線手順書は、CM09レセプタクルコネクタの結線方法についてご説明致します。

## 2. 仕様

適用コネクタ及び図番

コネクタ名	図 番
CM09-R25S	115J-AP10032
CM09-R25P	115J-AP10031

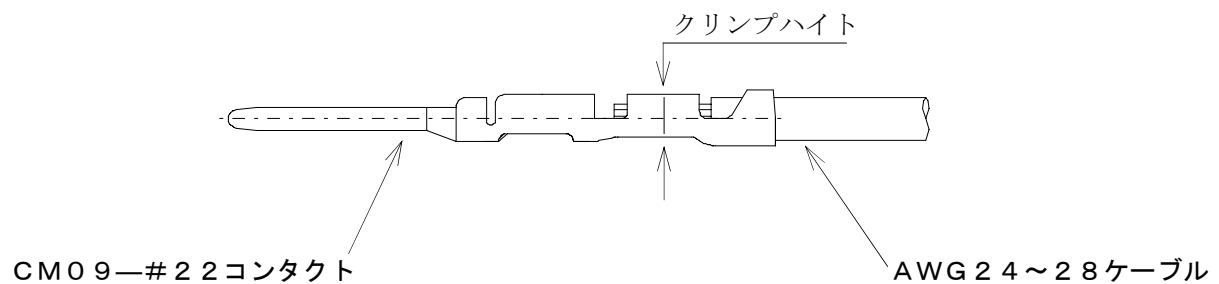
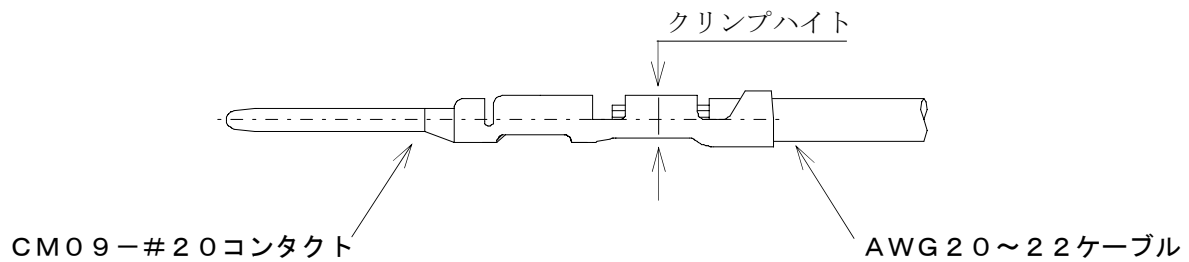
## 3. 結線作業

## 3-1. コンタクト圧着

コンタクト圧着機又は、圧着工具により AWG 20～28 ケーブルに各コンタクトを圧着します。

適用ケーブル	CM09-R25P 適用コンタクト	CM09-R25S 適用コンタクト	圧着機 圧着工具	クリンプハイト (ワイヤ部)
AWG 20 AWG 22	CM09-#20PC	CM09-#20SC	AP-A50457T 357J-50481T	1.05±0.05
AWG 24	CM09-#22PC	CM09-#22SC	AP-A50458T 357J-50482T	0.71±0.03
AWG 26				0.67±0.03
AWG 28				0.64±0.03

注意：コンタクトから芯線がはみ出さないよう注意して下さい。



## 3-2. コンタクト挿入

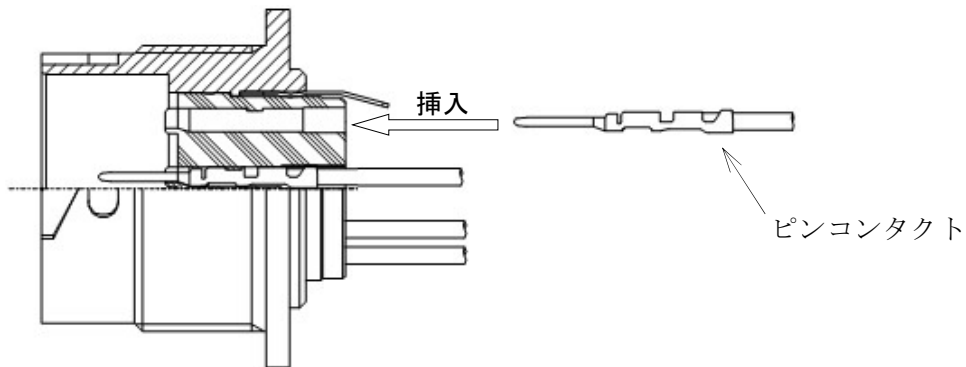
## ●CM09-R25Pコネクタ

コンタクトを指定のハウジングの端子No部へ挿入します。

注意：コンタクト挿入時、コンタクトがハウジングに装着されると“パチン”と音がします。

：コンタクトの向きを合わせ、変形させないようにまっすぐに挿入します。

：スムーズに挿入出来ない場合は、完全に装着されていない事があるため注意して下さい。



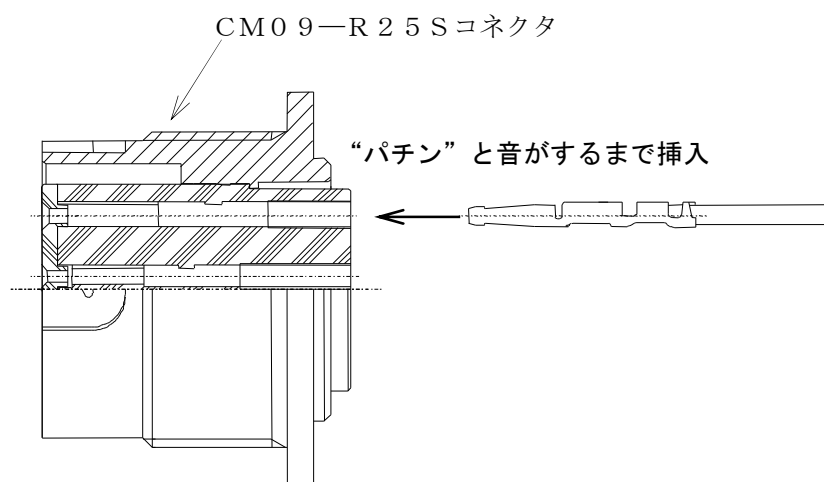
## ●CM09-R25Sコネクタ

①コンタクトを指定するハウジングの端子No部へ挿入します。

注意：コンタクトがハウジングに引っ掛かると“パチン”と音がします。

：コンタクトの向きを合わせて、変形させないようにまっすぐに挿入します。

：スムーズに挿入出来ない場合は、完全に装着されていない事があるため注意して下さい。

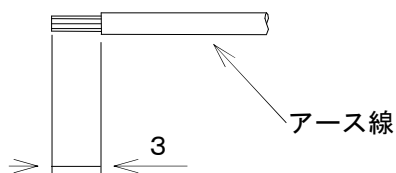


## ②顕微鏡検査

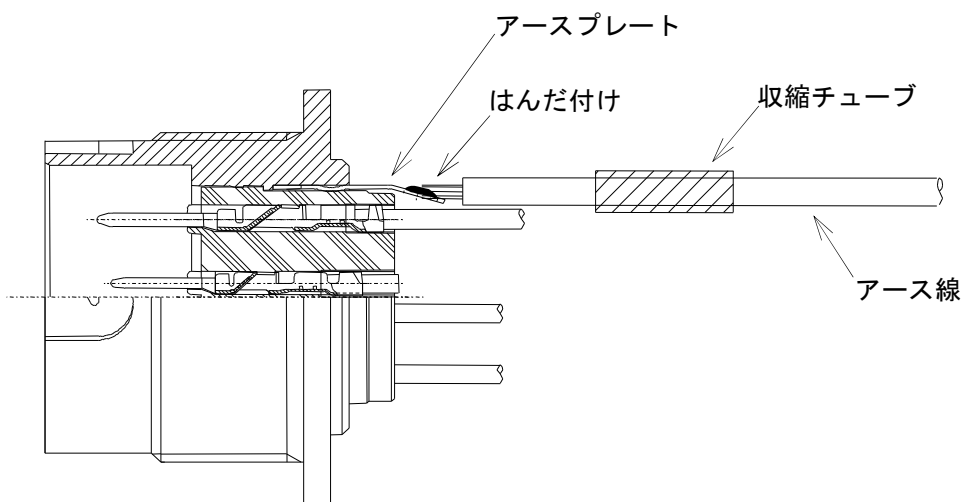
(挿入状態、偏芯、変形等)

## 3-3. アース線はんだ付け

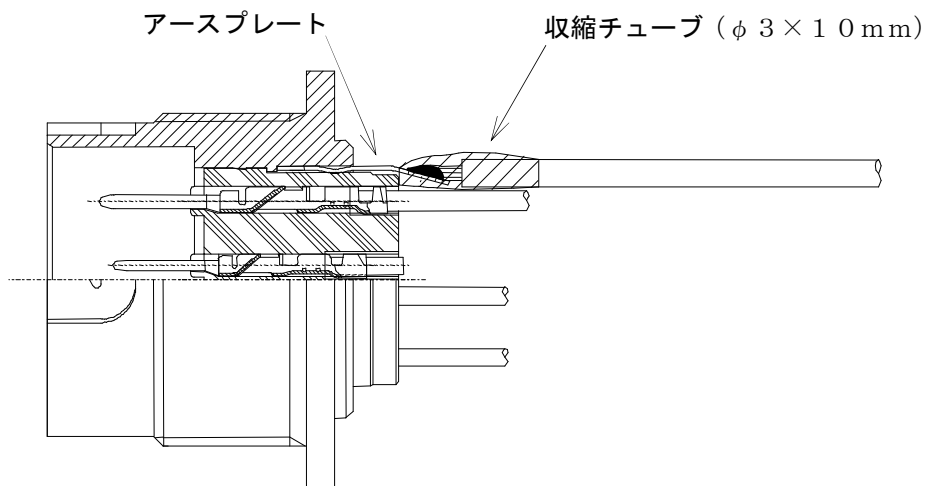
①アース線の芯線を3mmに口出しします。



②アース線に収縮チューブ ( $\phi 3 \times 10$  mm) を挿入し、アース線とアースプレートのはんだ付けを行ないます。



③収縮チューブ ( $\phi 3 \times 10$  mm) をアースプレートに挿入し、熱収縮を行ないます。



## 3-4. 電気検査

①コネクタを相手側のコネクタに嵌合（取り付け、取り外し）させてコンタクトの抜け、変形がないかを確認します。  
（製品と相手側コネクタを確認します）

②電検治具にコネクタをセットし、電検を行ないます。

検査 1：耐電圧試験

検査 2：絶縁抵抗試験

治具からコネクタを取り外し後、コンタクトの抜け、変形がないかを確認します。  
（製品と治具を確認します）

③顕微鏡検査

（挿入状態・偏心・変形等）

④ピンコンタクト挿入ゲージ確認

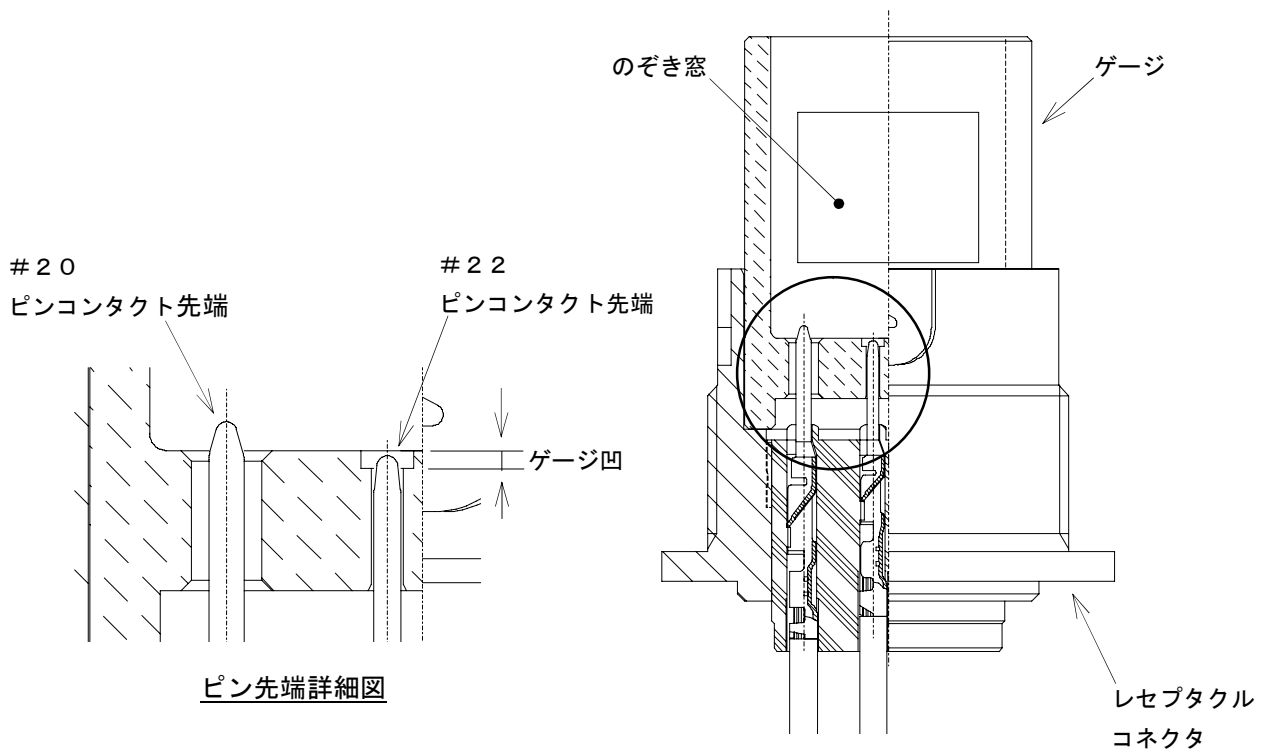
ピンコンタクトにゲージを挿入し、コンタクト変形、挿入不足を確認します。

注意：#22ピンコンタクト先端がゲージの凹部内にあることを確認します。

：#20ピンコンタクト先端はゲージ面から飛び出します。

## ●使用治工具

ピン挿入位置確認ゲージ（06-CM09-50565T）



#### 4. 参考

パネルの裏側から取付け穴に挿入し、ナットで固定する。

《推奨パネル厚さ》

2.0～5.0mm

《推奨締付トルク値》

3.0～3.5N・m